

# 2019年3月期 決算補足資料

1. 決算概観（連結）	P.1
2. 業績のポイント	P.2
3. 業績の状況	P.3
4. 主要製品の売上状況	P.4
5. 研究開発費・設備投資・減価償却費の状況	P.5
6. 開発品一覧	P.6～7
【参考資料】	
7. セグメント情報	P.9
8. 損益計算書の概要（連結）	P.10～11
9. 貸借対照表の概要（連結）	P.12
10. 主な業績項目の推移	P.13
11. 2020年3月期 連結業績予想	P.14
12. 杏林製薬（単体）資料	P.15～18

2019年5月13日

キョーリン製薬ホールディングス株式会社

本資料に記載されている業績予想等は、現時点で入手可能な情報により判断した予想であり、将来の業績に影響を与える不確実な要因やリスクが含まれています。実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる可能性があります。



# 2019年3月期 決算概観（連結）

(単位：百万円)	16年3月期	17年3月期	18年3月期	19年3月期	増減率	20年3月期 (予想)	増減率
売上高	119,483	115,373	110,640	<b>113,620</b>	+2.7%	<b>114,100</b>	+0.4%
営業利益	19,636	10,413	8,822	<b>8,972</b>	+1.7%	<b>9,100</b>	+1.4%
経常利益	19,995	10,874	9,345	<b>9,438</b>	+1.0%	<b>9,600</b>	+1.7%
親会社株主に帰属する 当期純利益	13,639	7,305	6,574	<b>6,869</b>	+4.5%	<b>7,100</b>	+3.4%
1株当たり当期純利益(円)	184.28円	99.45円	89.28円	<b>104.68円</b>	+17.2%	<b>123.94円</b>	+18.4%
総資産	197,825	192,668	196,736	<b>173,034</b>	-12.0%	-	-
純資産	157,049	157,837	163,297	<b>123,395</b>	-24.4%	-	-

## 2019年3月期 連結業績（実績）

**【売上高】** 新医薬品（国内）は、薬価改定の影響はあったものの、主力製品「フルティフォーム」の伸長、新製品「ベオーバ」及び新たに販売を開始した「ナゾネックス点鼻液」の寄与により売り上げは大幅に拡大し、後発医薬品も増収となりました。他方、新医薬品（海外）は導出品の開発進展に伴う一時金収入の反動減により減収となり、ヘルスケア事業は微減となりましたが、全体としては1,136億20百万円（前期比2.7%増）と前期比29億80百万円の増収となりました。

**【利益】** 薬価改定等による売上原価率の上昇、一時金収入の減少等により売上総利益が前期に対して41億66百万円減少しましたが、販売費及び一般管理費は費用削減の取り組みにより、前期に対して43億16百万円減少（内、研究開発費34億52百万円減）し、営業利益は89億72百万円と前期比1億50百万円の増益となりました。親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、68億69百万円（前期比4.5%増）となりました。

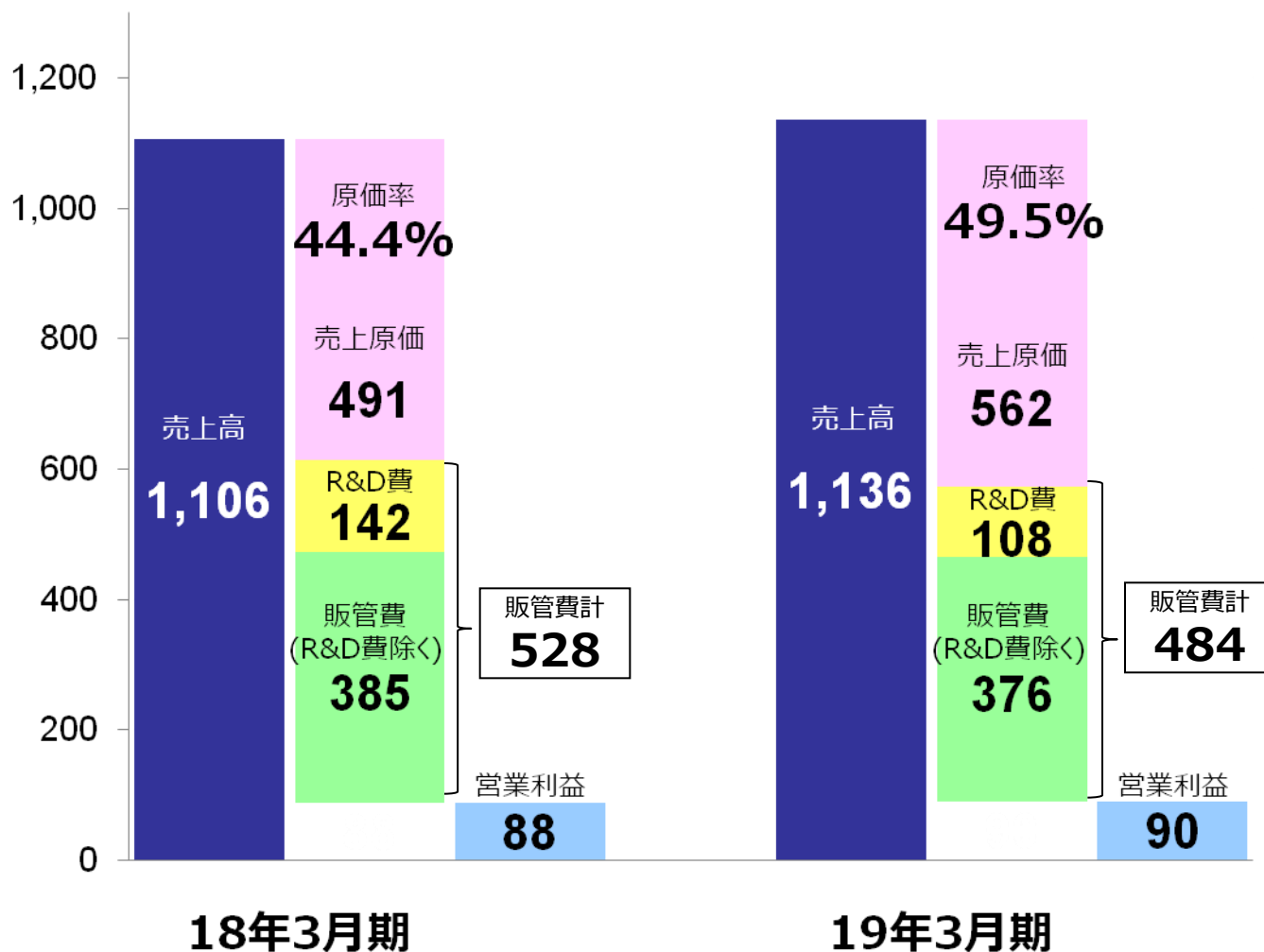
## 2020年3月期 連結業績（予想）

**【売上高・利益】** 売上高は、医療用医薬品事業では新医薬品（国内）の売り上げが前年を下回り、新医薬品（海外）及び後発医薬品の売り上げは、前年を上回る見通しです。ヘルスケア事業の売り上げは増加する見通しで、全体として増収を見込みます。利益面では、薬価改定の影響はあるものの増収と新薬群比率の向上による原価率の改善により売上総利益が増加する見通しで、研究開発費を含む販売費及び一般管理費の増加を吸収し、全体として増益を見込みます。

以上により、20年3月期の連結業績は、売上高1,141億円（前期比0.4%増）、営業利益91億円（前期比1.4%増）、親会社に帰属する当期純利益71億円（前期比3.4%）を予想します。

# 2019年3月期 業績のポイント（対前年）

（単位：億円）



## 【ポイント】

- 売上高は前年比30億円増加
- 売上原価率は5.1ポイント上昇
  - ・薬価改定の影響（7%台）
  - ・後発医薬品の売上増加
  - ・導出品の開発進展に伴う一時収入の減少
- 売上総利益は前年比42億円減少
- 販管費は前年比44億円減少
  - ・R&D費は34億円減少
  - ・販管費（R&D費除く）は9億円減少
- 営業利益は前年比2億円増加

# 2019年3月期 業績の状況

(単位：億円)

(対前年) (対予想)

	18年3月期	19年3月期	対前年
売上高	1,106	1,136	+30
医療用医薬品事業	1,047	1,079	+32
◆新医薬品	770	785	+15
○国内	737	777	+40
○海外	33	8	-25
◆後発医薬品	277	293	+16
ヘルスケア事業	59	58	-1
営業利益	88	90	+2
経常利益	93	94	+1
親会社株主に帰属する 当期純利益	66	69	+3

## ■ 配当

75円00銭/株 (うち、中間配当30円/株)、配当性向 72.6%

■ 売上高	1,136億円	(+30)	(+30)
◆ 医療用医薬品事業	1,079億円	(+32)	(+33)
● 国内新医薬品	777億円	(+40)	(+16)
	18.3実績	19.3実績	
・フルティフォーム	119	⇒ 131	(+12) (+8)
・デザレックス	49	⇒ 37	(-12) (-11)
・キプレス	188	⇒ 139	(-49) (+7)
・ナゾネックス	—	⇒ 128	(+128) (+27)
・ウリトス	72	⇒ 66	(-6) (-2)
・ベオーバ	—	⇒ 7	(+7) (-1)
・ペンタサ	153	⇒ 135	(-18) (-2)
・ムコダイン	87	⇒ 68	(-19) (-4)
● 海外新医薬品	8億円	(-25)	(-2)
導出品の開発進展に伴う一時金収入の減少			
● 後発医薬品	293億円	(+16)	(+19)
18年度追補品の売上が拡大			
◆ ヘルスケア事業	58億円	(-1)	(-2)
■ 営業利益	90億円	(+2)	(+8)
◆ 営業利益率は7.9%と前年と比較し0.1%減少			
● 原価率：前年比5.1ポイント上昇 (44.4%⇒49.5%)			
・薬価改定の影響 (7%台)			
・導出品の開発進展に伴う一時収入の減少			
・後発医薬品の売上増加			
● 研究開発費率：前年比3.4ポイント低下 (12.9%⇒9.5%)			
* 34億円減少 (142億円⇒108億円) KRP-N118の導入に伴う契約一時金等の減少			
● 販管費率 (R&D費を除く) 前年比1.7ポイント低下 (34.8%⇒33.1%)			
* 9億円減少 (385億円⇒376億円) 主に販売費、人件費の減少			
■ 親会社株主に帰属する 当期純利益	69億円	(+3)	(+8)

# 2019年3月期 主要製品の売上状況

(単位：億円)		15年3月期	16年3月期	17年3月期	18年3月期	19年3月期		20年3月期 (予想)
						実績	増減率 (%)	
国内 新医薬品	フルティフォーム (喘息治療配合剤)	36	72	101	119	131	+9.8	140
	デザレックス (アレルギー性疾患治療剤)	—	—	10	49	37	-24.1	80
	キプレス (成人製剤) (気管支喘息・アレルギー性鼻炎治療剤)	267	286	177	83	62	-24.6	45
	キプレス (小児製剤) (気管支喘息治療剤)	145	154	149	105	76	-27.4	61
	ナゾネックス (定量噴霧式アレルギー性鼻炎治療剤)	—	—	—	—	128	—	62
	ウリトス (自社販売分) (過活動膀胱治療剤)	73	75	75	72	66	-8.6	60
	ベオーバ (過活動膀胱治療剤)	—	—	—	—	7	—	25
	ペンタサ (潰瘍性大腸炎・クローン病治療剤)	172	161	155	153	135	-11.4	120
	ムコダイン (気道粘液調整・粘膜正常化剤)	140	130	99	87	68	-22.1	60
後発 医薬品	モンテルカスト錠「KM」※ ※モンテルカストのオンソライズド・ジェネリック (AG) (気管支喘息・アレルギー性鼻炎治療剤)	—	—	82	117	119	+1.3	116
一般用 医薬品	ミルトン (哺乳ビン・乳首消毒剤)	20	21	22	22	22	-1.7	23

# 研究開発費・設備投資・減価償却費の状況

(単位：百万円)

	15年3月期	16年3月期	17年3月期	18年3月期	19年3月期		20年3月期 (予想)
					実績	増減率	
研究開発費	13,514	13,019	13,569	14,243	<b>10,790</b>	-24.2%	<b>10,900</b>
設備投資	2,655	7,218	3,051	2,885	<b>2,306</b>	-20.1%	<b>4,100</b>
減価償却費	3,053	3,730	3,619	3,644	<b>2,940</b>	-19.3%	<b>3,500</b>

## 設備投資の詳細 (実績／予想)

(単位：億円)

	18年3月期 (実績)	19年3月期 (実績)	20年3月期 (予想)
工場設備	11	15	32
管理・販売設備	2	3	4
研究用設備	15	5	5

# 開発品一覧① (2019年5月13日現在)

## PhⅢ ~ 承認

※2019年2月5日からの変更点

開発段階		製品名・ 開発コード	薬効	起源	特徴	備考
国内	海外					
申請 (17年4月)		KRP-AM1977X (経口剤)	キノロン系合成抗菌剤	自社	75mg 1日1回投与で優れた臨床効果を確認 (市中呼吸器感染症・耳鼻咽喉感染症) ・呼吸器、耳鼻科感染症の起炎菌、及びβラクタム系・マクロライド系抗菌薬耐性株に対して強力な抗菌活性を示す ・血漿比10倍を超える肺組織への良好な移行性  高い安全性が期待される ・同系統の抗菌剤で懸念される、血糖値異常、光線過敏症、関節障害、消化器症状などを引き起こす可能性は低い	KRP-AM1977Xについては、追加の非臨床試験を実施中
申請準備中		KRP-AM1977Y (注射剤)	キノロン系合成抗菌剤	自社		
※申請準備中		KRP-116D	間質性膀胱炎治療剤	—	医療上の必要性の高い未承認薬・適用外薬に該当する「ジメチルスルホキシド」	
申請準備中		KRP-108P	気管支喘息	英国 ハクテラ社	喘息治療配合剤「フルティフォーム」の小児適応拡大	

※慢性咳嗽治療剤「MK-7264」 MSD社がPhⅢ実施中 販売協業に関する覚書締結 (19年5月)

# 開発品一覧② (2019年5月13日現在)

## POCプロジェクト (Ph I ~ Ph II)

開発段階		製品名・ 開発コード	薬効	起源	特徴	備考
国内	海外					
Ph II (18年8月)		KRP-N118 (SK-1404)	夜間多尿に伴う 夜間頻尿	(株)三和化学 研究所	バソプレシンV2受容体のアゴニストで、腎臓の 集合管で水の再吸収を促進して尿量を減ら す(抗利尿作用) 有効性と安全性に優れた夜間多尿に伴う夜 間頻尿治療薬として期待されている	(株)三和化学研究所とライセンス契約 (18年3月)
Ph II (18年6月)		Ad-SGE-REIC	悪性胸膜中皮腫	岡山大学	岡山大学で発見された新規がん抑制遺伝子 REICを使用する遺伝子治療薬。がん細胞 選択的アポトーシスと抗がん免疫の活性化を 誘導することが期待される	産学共同実用化開発事業 [NexTEP]への採択(14年6月)  【米国】桃太郎源(株)が前立腺がんの 臨床試験(Ph I / II)実施中 【日本】岡山大学で肝がんの医師主 導臨床試験 (Ph I / I b)実施中

## 導出品の状況

開発段階/海外	製品名・ 開発コード	導出先	薬効	起源	特徴	備考
Ph I	FPR2作動薬 プログラム	米国 プリストル・マイヤーズスクイブ社	非開示	自社	FPR2作動薬。主に好中球の遊走を 抑制し抗炎症作用を示す	プリストル・マイヤーズスクイブ社 とライセンス契約 (15年12月)
Ph I	KRP-203	再導出を検討中	移植片対宿主 病 (GvHD)		S1P受容体アゴニスト	ノバルティス社が開発戦略上の 視点から開発中止を決定し、開 発権を返還。



## 参考資料

## 報告セグメントごとの売上高および利益

(単位：億円)

	売上高		セグメント利益	
	金額	対前年	金額	対前年
<b>合計</b>	<b>1,136</b>	<b>+30</b>	<b>90</b>	<b>+2</b>
<b>医療用医薬品事業計</b>	<b>1,079</b>	<b>+32</b>	<b>83</b>	<b>+1</b>
◆新医薬品	<b>785</b>	<b>+15</b>		
○国内	777	+40		
○海外	8	-25		
◆後発医薬品	<b>293</b>	<b>+16</b>		
<b>ヘルスケア事業計</b>	<b>58</b>	<b>-1</b>	<b>2</b>	<b>+0</b>
<b>調整額</b>	<b>-</b>	<b>-</b>	<b>5</b>	<b>+1</b>

# 損益計算書の概要：連結－①

(単位：百万円)

<当期のポイント：対前年>

	18年3月期		19年3月期			
	実績	売上比	実績	売上比	増減率	前年差額
<b>売上高</b>	110,640	100.0%	<b>113,620</b>	100.0%	+2.7%	+2,979
医療用医薬品事業	104,703	94.6%	<b>107,859</b>	94.9%	+3.0%	+3,155
◆新医薬品	77,041	69.6%	<b>78,525</b>	69.1%	+1.9%	+1,483
○国内	73,702	66.6%	<b>77,694</b>	68.4%	+5.4%	+3,992
○海外	3,339	3.0%	<b>830</b>	0.7%	-75.1%	-2,509
◆後発医薬品	27,662	25.0%	<b>29,334</b>	25.8%	+6.0%	+1,672
ヘルスケア事業	5,937	5.4%	<b>5,761</b>	5.1%	-3.0%	-175

■ **売上高 113,620百万円** (+2,979百万円)

● **国内新医薬品 77,694百万円** (+3,992百万円)

	18.3実績	⇒	19.3実績	(億円)
・フルティフォーム	119	⇒	131	(+12)
・デザレックス	49	⇒	37	(-12)
・キプレス	188	⇒	139	(-49)
・ナゾネックス	—	⇒	128	(+128)
・ウリトス	72	⇒	66	(-6)
・ベオーバ	—	⇒	7	(+7)
・ペンタサ	153	⇒	135	(-18)
・ムコダイン	87	⇒	68	(-19)

● **海外新医薬品 830百万円** (-2,509百万円)

・導出品の開発進展に伴う一時金収入の減少			(億円)
・ガチフロキサシン	6	⇒	4 (-2)

● **後発医薬品 29,334百万円** (+1,672百万円)

・18年度追補品の売上が拡大

● **ヘルスケア事業 5,761百万円** (-175百万円)

## <連結子会社及び持分法適用会社について>

連結子会社7社：  
 杏林製薬(株)  
 Kyorin USA, Inc.  
 Kyorin Europe GmbH  
 ActivX Biosciences, Inc.  
 キョーリン リメディオ(株)  
 キョーリン メディカルサプライ(株)  
 キョーリン製薬グループ工場(株)(東京都千代田区)

持分法適用会社1社：日本理化学薬品(株)

# 損益計算書の概要：連結－②

(単位：百万円)

<当期のポイント：対前年>

	18年3月期		19年3月期			
	実績	売上比	実績	売上比	増減率	前年差額
売上高	110,640	100.0%	<b>113,620</b>	100.0%	+2.7%	+2,979
売上原価	49,064	44.3%	<b>56,210</b>	49.5%	+14.6%	+7,146
売上総利益	61,576	55.7%	<b>57,409</b>	50.5%	-6.8%	-4,166
販売費及び一般管理費 (うち研究費)	52,753 (14,243)	47.7% 12.9%	<b>48,436</b> <b>(10,790)</b>	42.6% 9.5%	-8.2% -24.2%	-4,316 -3,452
営業利益	8,822	8.0%	<b>8,972</b>	7.9%	+1.7%	+150
営業外収益	640	0.6%	<b>798</b>	0.7%	+24.6%	+157
営業外費用	118	0.1%	<b>332</b>	0.3%	+181.6%	+214
経常利益	9,345	8.4%	<b>9,438</b>	8.3%	+1.0%	+93
特別利益	627	0.6%	<b>66</b>	0.1%	-89.4%	-560
特別損失	910	0.8%	<b>145</b>	0.1%	-84.0%	-764
税金等調整前 当期純利益	9,061	8.2%	<b>9,359</b>	8.2%	+3.3%	+297
法人税・住民税 及び事業税	2,759	2.5%	<b>2,004</b>	1.8%	-27.4%	-754
法人税等調整額	-272	-0.2%	<b>485</b>	0.4%	-	+758
親会社株主に帰属 する当期純利益	6,574	5.9%	<b>6,869</b>	6.0%	+4.5%	+294

◆原価率：前年比5.1ポイント上昇  
(44.4%→49.5%)

- ・薬価改定の影響(7%台)
- ・導出品の開発進展に伴う一時収入の減収
- ・後発医薬品売上増加

◆研究開発費率：前年比3.4ポイント減少  
(12.9%→9.5%)

- \* 142億円→108億円(34億円減少)
- KRP-N118(SK-1404)の導入に伴う契約一時金等の減少

◆販管費率(除くR&D費)：前年比1.7ポイント低下  
(34.8%→33.1%)

- \* 385億円→376億円(9億円減少)
- 主に販売費、人件費の減少

■営業利益 8,972百万円 (+150百万円)

- \* 営業利益率は7.9%と0.1ポイント低下

■親会社株主に帰属する当期純利益

6,869百万円 (+294百万円)

■配当

- 75円00銭/株(うち、中間配当30円/株)
- 配当性向72.6%

# 貸借対照表の概要：連結

(単位：百万円)

	※18年3月期末	
	実績	構成比
<b>流動資産</b>	119,946	61.0%
現金及び預金	44,117	
受取手形及び売掛金	47,862	
有価証券	599	—
棚卸資産	23,308	
その他流動資産	4,058	
<b>固定資産</b>	76,789	39.0%
有形固定資産	21,901	
無形固定資産	1,750	—
投資その他	53,137	
<b>資産合計</b>	196,736	100.0%

19年3月期末		
実績	構成比	前期末増減
<b>114,904</b>	<b>66.4%</b>	<b>-5,042</b>
32,007		
52,635	—	—
501		
25,420		
4,339		
<b>58,130</b>	<b>33.6%</b>	<b>-18,659</b>
21,792		
3,401	—	—
32,936		
<b>173,034</b>	<b>100.0%</b>	<b>-23,701</b>

## <当期のポイント>

### ■ 流動資産： -5,042百万円

- ・現金及び預金の減少 ( -12,109百万円)
- ・受取手形及び売掛金の増加 (+ 4,772百万円)
- ・有価証券の減少 ( -98百万円)
- ・棚卸資産の増加 (+ 2,112百万円)
- ・その他流動資産の増加 (+ 281百万円)

### ■ 固定資産： -18,659百万円

- ・有形固定資産の減少 ( -108百万円)
- ・無形固定資産の増加 (+ 1,651百万円)
- ・投資その他の増加 (- 20,201百万円)

### ■ 流動負債： +16,345百万円

- ・支払手形及び買掛金の増加 (+ 1,175百万円)
- ・その他流動負債の増加 (+ 15,170百万円)

### ■ 固定負債： -144百万円

<b>流動負債</b>	25,134	12.8%
支払手形及び買掛金	10,266	—
その他流動負債	14,868	
<b>固定負債</b>	8,303	4.2%
<b>負債合計</b>	33,438	17.0%
<b>株主資本</b>	155,489	79.0%
<b>その他の包括利益累計額</b>	7,808	4.0%
その他有価証券評価差額金	10,101	
為替換算調整勘定	83	—
退職給付に係る調整累計額	-2,377	
<b>純資産合計</b>	163,297	83.0%
<b>負債及び純資産合計</b>	196,736	100.0%

<b>41,480</b>	<b>24.0%</b>	<b>+16,345</b>
11,411	—	—
30,038		
<b>8,159</b>	<b>4.7%</b>	<b>-144</b>
<b>49,639</b>	<b>28.7%</b>	<b>+16,200</b>
<b>116,744</b>	<b>67.5%</b>	<b>-38,744</b>
<b>6,651</b>	<b>3.8%</b>	<b>-1,157</b>
8,925		
56	—	—
-2,331		
<b>123,395</b>	<b>71.3%</b>	<b>-39,902</b>
<b>173,034</b>	<b>100.0%</b>	<b>-23,701</b>

※税効果会計に係る会計基準一部改正により遡及適用後の数値を記載しております

# 主な業績項目の推移：連結

(単位：百万円)	15年3月期	16年3月期	17年3月期	※18年3月期	19年3月期	20年3月期 (予想)
売上高 (海外売上)	113,121 (1,032)	119,483 (5,586)	115,373 (764)	110,640 (3,339)	<b>113,620 (830)</b>	<b>114,100 (1,300)</b>
売上原価 (売上原価率) %	46,598 (41.2%)	47,360 (39.6%)	50,847 (44.1%)	49,064 (44.3%)	<b>56,210 (49.5%)</b>	—
販売費及び一般管理費 (販管費率) %	51,785 (45.8%)	52,486 (43.9%)	54,113 (46.9%)	52,753 (47.7%)	<b>48,436 (42.6%)</b>	—
うち研究開発費 (研究開発費率) %	13,514 (11.9%)	13,019 (10.9%)	13,569 (11.8%)	14,243 (12.9%)	<b>10,790 (9.5%)</b>	<b>10,900 (9.6%)</b>
営業利益 (営業利益率) %	14,737 (13.0%)	19,636 (16.4%)	10,413 (9.0%)	8,822 (8.0%)	<b>8,972 (7.9%)</b>	<b>9,100 (8.0%)</b>
経常利益 (経常利益率) %	15,490 (13.7%)	19,995 (16.7%)	10,874 (9.4%)	9,345 (8.4%)	<b>9,438 (8.3%)</b>	<b>9,600 (8.4%)</b>
当期純利益 (当期純利益率) %	12,064 (10.7%)	13,639 (11.4%)	7,305 (6.3%)	6,574 (5.9%)	<b>6,869 (6.0%)</b>	<b>7,100 (6.2%)</b>
一株当たり当期利益(円)	161.63円	184.28円	99.45円	89.28円	<b>104.68円</b>	<b>123.94円</b>
資本金	700	700	700	700	<b>700</b>	—
総資産	183,383	197,825	192,668	196,736	<b>173,034</b>	—
株主資本	140,518	149,808	152,585	155,489	<b>116,744</b>	—
純資産	148,600	157,049	157,837	163,297	<b>123,395</b>	—
一株当たり純資産(円)	2,009.45円	2,131.67円	2,146.83円	2,214.13円	<b>2,154.05円</b>	—
自己資本利益率 %	8.4%	8.9%	4.6%	4.1%	<b>4.8%</b>	—
自己資本比率 %	81.0%	79.4%	81.9%	83.0%	<b>71.3%</b>	—
人員(人)	2,445人	2,420人	2,382人	2,348人	<b>2,297人</b>	—
設備投資	2,655	7,218	3,051	2,885	<b>2,306</b>	<b>4,100</b>
減価償却費	3,053	3,730	3,619	3,644	<b>2,940</b>	<b>3,500</b>

※税効果会計に係る会計基準一部改正により遡及適用後の数値を記載しております。

# 2020年3月期 連結業績予想

(単位：百万円)

	19年3月期 (実績)	20年3月期 (予想)	対前年	
			増減額	増減率 (%)
売上高	113,620	<b>114,100</b>	+480	+0.4
医療用医薬品事業	107,859	<b>108,000</b>	+141	+0.1
◆新医薬品	78,525	<b>75,800</b>	-2,725	-3.5
国内	77,694	<b>74,400</b>	-3,294	-4.2
海外	830	<b>1,300</b>	+470	+56.6
◆後発医薬品	29,334	<b>32,200</b>	+2,866	+9.8
ヘルスケア事業	5,761	<b>6,100</b>	+339	+5.9
営業利益	8,972	<b>9,100</b>	+128	+1.4
経常利益	9,438	<b>9,600</b>	+162	+1.7
親会社株主に帰属する 当期純利益	6,869	<b>7,100</b>	+231	+3.4

# 損益計算書の概要：杏林製薬－①

(単位：百万円)

<当期のポイント：対前年>

	18年3月期		19年3月期			
	実績	売上比	実績	売上比	増減率	前年差額
<b>売上高</b>	97,459	100.0%	<b>99,736</b>	100.0%	+2.3%	+2,277
医療用医薬品事業	92,341	94.7%	<b>94,731</b>	95.0%	+2.7%	+2,930
◆新医薬品	74,637	76.6%	<b>76,172</b>	76.4%	+2.2%	+1,535
○国内	71,522	73.4%	<b>75,558</b>	75.8%	+5.8%	+4,036
○海外	3,115	3.2%	<b>613</b>	0.6%	-80.3%	-2,502
◆後発医薬品	17,703	18.2%	<b>18,558</b>	18.6%	+4.8%	+855
ヘルスケア事業	5,117	5.3%	<b>5,004</b>	5.0%	-2.2%	-113

■ **売上高 99,736百万円 (+2,277百万円)**

● **国内新医薬品 75,558百万円 (+4,036百万円)**

	18.3実績	⇒	19.3実績	(億円)
・フルティフォーム	119	⇒	131	(+12)
・デザレックス	49	⇒	37	(-12)
・キプレス	188	⇒	139	(-49)
・ナゾネックス	—	⇒	128	(+128)
・ウリス	72	⇒	66	(-6)
・ベオーバ	—	⇒	7	(+7)
・ペンタサ	153	⇒	135	(-18)
・ムコダイン	87	⇒	68	(-19)

● **海外新医薬品 613百万円 (-2,502百万円)**

・導出品の開発進展に伴う一時金収入の減少			(億円)
・ガチフロキサシン	6	⇒	4 (-2)

● **後発医薬品 18,558百万円 (+855百万円)**

・モンテルカストAGが拡大

● **ヘルスケア事業 5,004百万円 (-113百万円)**

	18.3実績	⇒	19.3実績	(億円)
・ミルトン	22	⇒	22	(0)
・ルビスタ	11	⇒	13	(+2)



# 損益計算書の概要：杏林製薬－②

(単位：百万円)

<当期のポイント>

	18年3月期		19年3月期			
	実績	売上比	実績	売上比	増減率	前年差額
売上高	97,459	100.0%	99,736	100.0%	+2.3%	+2,277
売上原価	42,885	44.0%	50,443	50.6%	+17.6%	+7,558
売上総利益	54,573	56.0%	49,292	49.4%	-9.7%	-5,281
販売費及び一般管理費 (うち研究費)	48,645 (13,158)	49.9% (13.5%)	43,905 (9,569)	44.0% (9.6%)	-9.7% -27.3%	-4,739 -3,589
営業利益	5,928	6.1%	5,387	5.4%	-9.1%	-541
営業外収益	772	0.8%	784	0.8%	+1.5%	+11
営業外費用	92	0.1%	50	0.1%	-45.9%	-42
経常利益	6,608	6.8%	6,121	6.1%	-7.4%	-487
特別利益	50	0.1%	60	0.1%	+20.2%	+10
特別損失	457	0.5%	120	0.1%	-73.6%	-336
税引前当期純利益	6,201	6.4%	6,061	6.1%	-2.3%	-140
法人税・住民税 及び事業税	2,156	2.2%	1,193	1.2%	-44.7%	-962
法人税等調整額	-592	-0.6%	478	-0.5%	-	+1,071
当期純利益	4,637	4.8%	4,389	4.4%	-5.4%	-248

◆原価率：前年比 6.6ポイント上昇  
(44.0%→50.6%)

\* 薬価改定の影響  
導出品の開発進展に伴う一時収入の減収  
後発医薬品売上増加

◆研究開発費率：前年比 3.9ポイント低下  
(13.5%→9.6%)

\* 132億円→96億円 (36億円減少)  
KRP-N118 (SK-1404) の導入に伴う契約一時金等の減少

◆販管費率(除くR&D費)：前年比2.0ポイント低下  
(36.4%→34.4%)

■営業利益 5,387百万円 (-541百万円)

\* 営業利益率は5.4%と0.7ポイント低下

■当期純利益 4,389百万円 (-248百万円)

# 貸借対照表の概要：杏林製薬

(単位：百万円)

	※18年3月期末	
	実績	構成比
<b>流動資産</b>	82,803	54.6%
現金及び預金	18,527	
売掛金	43,151	
有価証券	599	—
棚卸資産	17,736	
その他流動資産	2,789	
<b>固定資産</b>	68,818	45.4%
有形固定資産	12,649	
無形固定資産	1,324	—
投資その他	54,844	
<b>資産合計</b>	151,622	100.0%

19年3月期末		
実績	構成比	前期末増減
<b>118,028</b>	<b>72.9%</b>	<b>+35,224</b>
<b>7,581</b>		
<b>47,814</b>		
<b>501</b>	—	—
<b>19,237</b>		
<b>42,893</b>		
<b>43,957</b>	<b>27.1%</b>	<b>-24,860</b>
<b>7,685</b>		
<b>3,087</b>	—	—
<b>33,184</b>		
<b>161,986</b>	<b>100.0%</b>	<b>+10,363</b>

## <当期のポイント>

### ■ 流動資産： +35,224百万円

- ・現金及び預金の減少 (−10,946百万円)
- ・売掛金の増加 (+4,663百万円)
- ・有価証券の減少 (−98百万円)
- ・棚卸資産の増加 (+1,501百万円)
- ・その他流動資産の増加 (+40,104百万円)

### ■ 固定資産： −24,860百万円

- ・有形固定資産の減少 (−4,963百万円)
- ・無形固定資産の増加 (+1,762百万円)
- ・投資その他の増加 (−21,659百万円)

<b>流動負債</b>	19,397	12.8%
買掛金	7,863	
その他流動負債	11,533	—
<b>固定負債</b>	3,609	2.4%
<b>負債合計</b>	23,007	15.2%
<b>株主資本</b>	118,595	78.2%
評価・換算差額等	10,019	6.6%
<b>純資産合計</b>	128,614	84.8%
<b>負債及び純資産合計</b>	151,622	100.0%

<b>36,562</b>	<b>22.6%</b>	<b>+17,164</b>
<b>10,299</b>		
<b>26,262</b>	—	—
<b>4,103</b>	<b>2.5%</b>	<b>+493</b>
<b>40,665</b>	<b>25.1%</b>	<b>+17,658</b>
<b>112,464</b>	<b>69.4%</b>	<b>-6,130</b>
<b>8,856</b>	<b>5.5%</b>	<b>-1,163</b>
<b>121,320</b>	<b>74.9%</b>	<b>-7,294</b>
<b>161,986</b>	<b>100.0%</b>	<b>+10,363</b>

### ■ 流動負債： +17,164百万円

- ・買掛金の減少 (+2,435百万円)
- ・その他流動負債 (+14,728百万円)

### ■ 固定負債： +493百万円

※税効果会計に係る会計基準一部改正により遡及適用後の数値を記載しております

# 主な業績項目の推移：杏林製薬

(単位：百万円)	15年3月期	16年3月期	17年3月期	※18年3月期	19年3月期	20年3月期 (予想)
売上高 (海外売上)	98,452 (840)	106,390 (5,343)	100,022 (528)	97,459 (3,115)	<b>99,736 (613)</b>	<b>100,000 (1,100)</b>
売上原価 (売上原価率) %	38,951 (39.6%)	40,798 (38.3%)	43,503 (43.5%)	42,885 (44.0%)	<b>50,443 (50.6%)</b>	—
販売費及び一般管理費 (販管費率) %	47,349 (48.1%)	48,129 (45.2%)	49,714 (49.7%)	48,645 (49.9%)	<b>43,905 (44.0%)</b>	—
うち研究開発費 (研究開発費率) %	12,843 (13.0%)	12,421 (11.7%)	12,785 (12.8%)	13,158 (13.5%)	<b>9,569 (9.6%)</b>	<b>9,500 (9.5%)</b>
営業利益 (営業利益率) %	12,151 (12.3%)	17,461 (16.4%)	6,803 (6.8%)	5,928 (6.1%)	<b>5,387 (5.4%)</b>	<b>6,100 (6.1%)</b>
経常利益 (経常利益率) %	13,115 (13.3%)	17,985 (16.9%)	7,396 (7.4%)	6,608 (6.8%)	<b>6,121 (6.1%)</b>	<b>6,900 (6.9%)</b>
当期純利益 (当期純利益率) %	10,412 (10.6%)	12,113 (11.4%)	4,454 (4.5%)	4,637 (4.8%)	<b>4,389 (4.4%)</b>	<b>5,200 (5.2%)</b>
一株当たり当期利益 (円)	140.20円	163.11円	59.98円	62.45円	<b>59.10円</b>	—
資本金	4,317	4,317	4,317	4,317	<b>4,317</b>	—
総資産	142,967	155,637	149,382	151,622	<b>161,986</b>	—
株主資本	110,534	117,300	117,744	118,595	<b>112,464</b>	—
純資産	118,246	127,610	125,310	128,614	<b>121,320</b>	—
一株当たり純資産 (円)	1,592.16円	1,718.23円	1,687.28円	1,731.76円	<b>1,633.55円</b>	—
自己資本利益率 %	9.1%	9.9%	3.5%	3.7%	<b>3.5%</b>	—
自己資本比率 %	82.7%	82.0%	83.9%	84.8%	<b>74.9%</b>	—
人員 (人)	1,771人	1,731人	1,687人	1,673人	<b>1,567人</b>	—
設備投資	1,125	5,059	905	815	<b>599</b>	<b>400</b>
減価償却費	1,667	2,241	2,143	1,942	<b>1,183</b>	<b>1,400</b>

※税効果会計に係る会計基準一部改正により遡及適用後の数値を記載しております

## ■ 将来見通しに関する注意事項

本資料に記載されている業績予想等は、現時点で入手可能な情報により判断した予想であり、将来の業績に影響を与える不確実な要因やリスクが含まれています。実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる可能性があります。